

ぐるめ散歩

弁当

彩りごはん

魚や肉、野菜など旬の素材と無添加の調味料を使っていねいに手作りした弁当の専門店。

店主の楠啓介さんは料理店でみがいた腕を生かし、素材や調理法にこだわった料理を手頃な価格で味わってもらおうと、平成15年に狛江駅南口ロータリー近くに店を開いた。

弁当は日替わりで、メインの魚や肉の料理によって756円から1,100円前後まで（いずれも税込み）5種類あり、煮物など4種の副菜、ご飯が付く。メイン料理は



楠さん

☎3489-1730 東和泉1-30-13
営業：午前11時～午後1時30分
/4時30分～8時（金曜日は7時まで、土曜日夕方は休業）日曜日・祝日休み
ホームページ→



■おすすめMENU■
日替わり弁当 ¥756～
¥1,100前後 / おすすめダブルメインセット ¥1,350～
¥1,728 (税込み)



いねいに手作りした日替わり弁当
無添加の調味料、減農薬米を使う

長芋のはさみ揚げ（海老入り・写真左）、大山どりとおぼろのバター醤油（写真右）など、手間をかけたものが多く、銀ガレイ、柚庵焼、アジフライタルソースはファンが多い。メイン料理2つが味わえる「おすすめダブルメインセット」も好評だ。

お客は子連れの主婦から仕事帰りの会社員まで様々で、年齢層も

幅広い。週3～4回訪れる人も多いという。

電話やネットで予約を受け付けており、温かいうちにおいしく食べてもらおうと、来店時間に合わせ

て調理にかかるなどの配慮をしている。

食の安全を考慮し無添加の調味料や庄内直送の減農薬米を使い、弁当の容器も環境にやさしい素材にしているという。

狛江市が催した平成24年度の「狛江ランチ逸品コンテスト」と26年度の「こま井逸品コンテスト」で優秀作品賞に選ばれた。

狛江一小が150周年、いずみ学級60周年

ユニークイベントで祝う

市民まつりに合わせ13日に「枝豆投げ」や大同窓会

明治5年に開校

狛江第一小学校（川崎貴志校長）で、同小開校150周年、いずみ学級開設60周年

を祝うユニークな記念イベントが、狛江市民まつりの会場となる13日回に催され、オリジナルの記念競技「枝豆投げ～みんなで投げてめざせ150メートル～」や昔の写真などを展示する大同窓会が行われる。

同小は市内で最も古い学校で、明治5年の学制発布に伴い前身の観聚学舎が泉龍寺境内に開校した。7年に和泉学校と改称、12年に岩戸北の慶岸寺へ移転し江東学校と改称、14年に狛江駅北口ロータリーの場所に移転し再び和泉学校となった。22年の狛江村誕生に伴い村立狛江尋常小学校に改称、30年に高等科を併設し狛江尋常高等小学校に改称した。戦争中の昭和16年に狛江国民学校に改称。終戦後の22年に狛江小学校に改称、24年の狛江第二小学校開校に伴って現在の狛江第一小学校に改称した。37年に障がい児の学習に取り組むいずみ学級が創設された。62年に小田急線の高架複々線化事業に伴って現在地へ移転した。

節目を記念する事業の開催に向



イベントに向けて準備作業をする委員たち

け、昨年から周年事業準備会を発足させて基本計画を検討、今年4月にPTA役員や元会長、有志など10数人が「150周年実行委員会」（富永恵仁委員長）を組織して準備を進めてきた。

実行委では、市内に多くの卒業生がおり、市内で最も古い同小について多くの市民に知ってもらうには、市民まつりが開催される日がふさわしいと考え、記念イベントの同時開催を決めたという。

実行委では、記念事業を盛り上げるため、4月に狛江駅北口ロータリーにある「狛江第一小学校跡地」の記念碑の清掃をはじめ、狛江古代カップ多摩川いかだレースへの出場、記念ポスターの作成、川柳募集、記念Tシャツのデザインと制作、販売、協賛金集めなどに取り組んできた。

児童からアイデア募集

学校でも、昨年度に児童から同校を象徴するキャラクターを募集。多くの作品の中から現6年生の作品が選ばれた。採用された「一



150周年実行委員会の委員ら

小あいさつうさぎ」は同小で飼っているウサギをモチーフにしたもので、150の数字と書いたはちまきを巻き、同小の東側の通

りの愛称「あいさつ通り」の旗を持っている。キャラクターは、学校のフェンスに張る横断幕やチラシ、記念Tシャツなどに使われている。

13日回の記念イベントは、実行委員会だけでなく在校生からもアイデアを募った結果、オリジナル競技の枝豆投げに加え、昔の学校の写真やアルバムを展示する大同窓会を催す。

枝豆投げは児童のアイデアを元にしたもので、枝豆に見立てたテニスボール大のゴムボール3個が入ったプラスチック製のネットを、1チームが10回投げて合計距離が150mに一番近いチームを表彰する。同小体育館で午前10時から午後2時まで行い、表彰式を2時30分から催す。2人以上10人以上ならだれでも参加できる。

大同窓会は、同小の教室に昔の卒業アルバム、給食のサンプル、当時の教師からのメッセージなどを展示するほか、参加者から思い出話や一小にまつわるエピソードを集める。同窓会は2部制で、1部は中学生と高校生対象で時間は午前10時～10時45分、2部は高校生より高齢の人が対象で時間は11時～正午。入場は無料。参加は申し込み制で、実行委のホームページから申し込む（当日可）。

また、市民まつりのパレードに毎年参加している同小鼓笛隊の後方を在校生や家族、卒業生の希望者が参加して歩く。

富永委員長は「今年150周年を迎えられる学校は全国的にも少ないようなので、感慨深いです。先人が培ってきた伝統をオール狛江で次の時代につなげていきたいので、当日はOBに限らず、ぜひ多くの市民に参加してほしいです」と語っている。

150周年事業実行委員会ホームページ→



は〜とGoods

手作り多彩な商品

障害者施設「麦の穂」ですいた紙など自然素材を使ったしめ縄をはじめ、石塑粘土で作ったクリスマスオーナメント、小動物のマグネットやバッチ、羊毛で作ったえだまめストラップなど多彩なオリジナルの手作り商品が人気。

しめ縄、クリスマスオーナメント

一般社団法人ソーシャルステップサポートが運営する多機能型事業所パザパを利用する精神・知的障がいがある人が個人の適性に合わせ創作活動の一環として製作している。

価格＝しめ縄大1,000円・小500円、クリスマスオーナメント、季節の石けん、キーホルダー、小動物マグネット・バッチ各100円、えだまめストラップ、羊毛アクセサリ各200円（いずれも税込み）。

パザパ＝和泉本町1-9-4光洋産業第二ビル1階 ☎5761-7380、営業＝月～金曜、午前10時～午後3時

13日に駅前2カ所でライブ つなげよう音楽の架け橋

狛高箏曲部など6グループ
ストリートピアノも設置

13日回の狛江市民まつりに合わせ駅前ライブが午前10時から午後2時30分に催される。

狛江駅のえきまえ北口広場では、ぼっしがギター弾き語り、ジョニクロがファンク、Kunaがポップスを生演奏する。

今回から新たに加わった和泉多摩川駅のぼかぼか広場では、都立狛江高校箏曲部、Love & Peaceがポップス、西尾賢ソボキがオリジナル曲を披露する。また、ライブの終了後、誰でも自由に弾けるストリートピアノが設置される。

入場は無料。なお、出演者が変わる場合がある。駅前ライブは気軽に生演奏に触れてもらおうと開催されており、今回は市民まつりの一環として音楽で盛り上げる。

問い合わせ ☎3430-4106 狛江市文化振興事業団。